

2023年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究（本年度のみ）

ふりがな	ふしみ やすこ					
教員氏名	伏見 康子		職 位	准教授	学 位	博士（経営学）
アルファベット表記	Fushimi Yasuko					
専門分野			会計学			
研究課題	テーマ	簿記会計教育に関する研究				
	概要	簿記教育および会計教育のあり方について研究を続けている。本学学生が短大で学んだ会計学や簿記の知識を、実際の企業活動や企業人としての業務活動などの実践の場において、より適切に活用できるような人材の育成を目指す。そのためのカリキュラムや講義内容、さらに具体的な教授法について検討していく。				
本年度 研究業績	研究費	総額： 180,000 円 内訳：個人研究費 180,000 円 / 科学研究費 円 そ の 他 円				
	研究テーマ	簿記教育、会計教育				
	経過と到達点	教育研究については、教材開発や教授法の研究をこれまでと同様に継続して行ってきた。会計学入門の授業においては、理論を理解させるための演習問題作成に取り組んだ。学生に会計が必要となる経済・社会の状況を理解させたうえで、どのように判断すべきかを学生自身に考えさせることが重要であると考え。よって、さまざまな経営の場面を想定し、会計の観点からどのような判断をするべきかを考えるための演習問題を検討した。演習問題の取り組みと学生の回答を受講生全体で共有することで、学生にとってより深い理解と視野を広げることにつながっていると考えられる。 また、簿記科目においては、簿記検定対策も考慮したカリキュラムや授業運営の検討を継続しており、今年度は研究ノートとしてその成果をまとめた。				

（1）学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					

③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究 ノート、専門 誌記事等					
⑦学会での 口頭発表、討 論者（ディス カッサント）	会計カリキュラム の改訂と簿記検定 対策の取り組み （仮）	2024年3 月予定	単	京都経済短期大学 経営・情報学会	本学における会計カリキュ ラムの改訂と簿記検定対策の取 り組み状況を整理し、その成果 と課題を検討していく。2016 年度から2023年度前半までの 期間では、初級レベルの科目の 整備が落ち着き、一定の成果を あげられるようになった。次 に、課題となるのが中級レベル の科目の整備である。

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書				
⑨単著書・ 単訳書				

(3) 外部研究資金獲得（競争的資金獲得）

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)				
⑬科学研究 助成事業(日 本学術振興 会) 申請	※ 申請した場合は「申請」と記入。			

2. 教 育（本年度のみ）

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
	講義	初級簿記、簿記特講Ⅰ、財務会計論	簿記特講Ⅱ、会計学入門、 中級簿記Ⅰ
	演習	基礎ゼミナール、ゼミナールⅡ	ゼミナールⅠ、ゼミナールⅢ
教育内容・方法 の工夫	実習		
	◆ 講義科目 簿記科目では、非常勤講師も含めた担当者4名との打合せを密に行い、協力体制を構築して授業を実施してきた。とくに、初級簿記から簿記特講Ⅰ、簿記特講Ⅱに進む際に学生の実力を考慮してクラス分けを行うことで、より受講生に適した授業内容を展開することができた。複数クラスで行う人数がおり、学生の意欲を引き出すことができていられると思われる。 会計学入門や財務会計論などの理論科目では、教員がテキストを解説するだけでなく、会計実務におけるさまざまな課題について質問を準備し、学生に「どれが良いか、その答えと根拠となる理由を説明せよ」という問いを毎回の授業で取り上げた。これによって、受講生は受け身で参加するのではなく、自発的に考えていくことが増え、授業へのコミットも高くなった。「考えることが面白かった」「いろいろな意見があることがわかった」というコメントが多く見られた。今後の会計実務では、数ある選択肢から各社の経営により適した方法を選択する能力が重要であり、その意識を養成することができた。		
	◆ 演習科目 1回生の基礎ゼミナールでは、ほぼ毎回のゼミでグループを作って学生が時間管理をしながら意見交換を行い、全員の前で発表するなど、学生の自立や主体的な姿勢の養成を図った。その結果、学生が主体的に運営し、様々な意見や考え方があることを理解し、自主的に発言もできるようになった。 2回生のゼミナールⅡおよびⅢでは、毎月1回のペースで卒業論文を発表し合い、学生が中心となって質疑応答をするよう進めた。他の学生の論文を参考にしながら、学生が互いに論文作成のスキルや表現方法などを高め合っていくことができた。 ゼミナールⅠでは、多くの場面でグループを作り、さまざまなテーマについて議論し発表する活動を取り入れ、主体的に考えて発言する機会を増やした。また、簿記検定対策においては、学生同士で教え合う形態を作り、説明する力や簿記の理解を相互に高めることにつながった。		
	実習科目 ◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。） 会計学入門や財務会計論などの理論科目において、事後課題や授業内課題としてのクイズや復習問題の作成。 簿記のしくみについて、より理解を深めるための練習問題の作成。		

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

（1）公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	

（2）学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

（3）講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・学会座長	大阪高等学校「進学前教育（特別講座）」のプログラムにおいて、「簿記会計入門」の講師として講演（2023年11月9日16:00～17:30）。

4. 特記事項（本年度のみ）

勉強会や課外活動を下記の通り実施した（予定も含む）。

1. 簿記検定対策勉強会（9月および2月 各2時間、全16回実施、希望者：ゼミ生以外も含む）
2. ゼミ内卒論発表会、1・2回生交流会（2023年12月20日（火）9:30～15:00）
3. 工場・企業見学（2024年2月16日 三星園上林三大本店）

高槻市こども会連合会 監事（一般会計および特別会計の中間監査および決算監査を行った）